

昭和六十年現代宗教研究所事業計画案

1 教化研究会議

① 第十八回中央教化研究会議の企画・運営

(イ) 九月上旬 教師大会として開催。

(ロ) 統一テーマ お題目総弘通運動をめざして

― 信行会の組織化と活性化にとりくみ、お題目の輪をひろげるために―

(イ) 教務部・現宗研の協議にもとづき、囑託・研究員を中心に運営委員会にて企画・運営・内容を定める。

② 教区教化研究会議の開催・運営

(イ) 十教区にて開く。

(ロ) 中央教研のテーマおよび各教区の独自性をいかしたテーマにもとづいて企画、実施する。

(イ) 教区所属の囑託・教区運営委員が教区長・宗務所長の承認にもとづいて企画・運営にあたる。

2 研究

① 教化学研究

(イ) 教化学研究集会を年二回開催する。

(ロ) 教化の事例交流および体系化をはかる。特に研究会例会テーマを中心に現代教化の内容をまとめる。

② 日蓮主義研究

(イ) 日蓮聖人の信行観・社会観・教団論・教化論などの研究にとりくむ。

(ロ) 近現代日蓮主義の思想と行動についての研究。小川泰堂・田中智学などを中心に行う。

③ 教団史研究

(イ) 影山堯雄編『補訂日蓮宗年表』の編纂・刊行の作業を行う。

(ロ) 教団史研究会を開く。

(イ) 昭和五十九年次年表の作成

④新興宗教・仏教各宗の研究

(イ)「題目系新興宗教」の資料収集と研究を行う。

(ロ)仏教各宗研究機関交流会への参加。

⑤研究講座の開催

教師を対象に教学・教化学・社会問題等をテーマにとりあげる。

⑥研究例会の開催

(イ)研究員「現代社会の諸問題と日蓮宗の教化」を共通テーマとし研究員が研究および資料収集にとりくむ。

(ロ)テーマは次の通り。

統一テーマ 現代社会の諸問題と日蓮宗の教化

- 1、脳死・安楽死問題と日蓮宗教化
- 2、高齢化社会と日蓮宗教化
- 3、身障者・社会福祉と日蓮宗教化
- 4、人権・差別問題と日蓮宗教化
- 5、教育・非行問題と日蓮宗教化
- 6、核の問題と日蓮宗教化
- 7、家庭・家族問題と日蓮宗教化

8、心の病気と日蓮宗教化

9、都市化現象の中の寺檀関係と日蓮宗教化

10、「題目系」新興宗教と日蓮宗教化

11、生命科学と日蓮宗教化

12、人口・食糧・飢餓問題と日蓮宗教化

13、難民問題と日蓮宗教化

14、環境問題と日蓮宗教化

15、宗教戦争と日蓮宗教化

16、人隣問題と日蓮宗教化

17、新新興宗教問題と日蓮宗教化

18、現代人の意識と現代宗教と日蓮宗教化

3 調査

①「宗勢調査報告書」の作成―総合企画部の依頼にもとづき調査項目の整理・分析、まとめ作業を行う。

②都市化・過疎化現象の中の寺院の現況調査の実施。

(イ)千葉・山梨・山陰・北海道など過疎化の中の寺院調査と分析・研究を行う。

(ロ)都市周辺部の重点地域を選び寺院調査を行う。

③教師・檀信徒にたいする意識調査の実施。

④信行会に関する実態調査の実施。

⑤檀林の調査―千葉・養安寺檀林関係の調査および史料収集。

⑥現代社会の諸問題についての資料・文献の収集

⑦教化資料の作成・配布、および収集・分類・保管・

目録作成など教化センター機能の充実。

4 編集出版

①「現代宗教研究」第二十号の発行

②教化資料の教材の発行

③昭和五十九年次日蓮宗年表の発行

④教化交流誌「教化の友」への編集協力

⑤その他必要な史料、教化資料の刊行

5 会議

①顧問会議―年度計画及び報告を中心に

②嘱託会議―研究調査の実施、教化資料の収集・整理などを中心に

③院内各部との提携・協力